

# 幸福な田舎のつくりかた

地域の誇りが人をつなぎ、小さな経済を動かす

金丸弘美著

著者の金丸氏は食環境ジャーナリストで政府や自治体の各種アドバイザーなども多数歴任。全国約千の農山漁村を訪れ、各地の地域再生や地域活性化にも関わっています。地方の衰退が叫ばれる中であって、元氣にがんばっている地域を紹介し、その共通点を解き明かしているのが本書です。

地域固有の在来野菜を使った食文化の発信や「映画の都」をめざしての取り組みで全国から注目を集める

山形県鶴岡市。レトロな景観を大切にしながら若者の新鮮な知恵を生かしてにぎわいが復活した熊本県の阿蘇一の宮門前町商店街。「市民の台所」をめざして地元の食材の魅力を発掘・発信し、結果的に多くの観光客を呼び込むことに成功



している山口県萩市の道の駅「萩しーまーと」など多くの事例を紹介。(株)野菜くらぶ(群馬)、(株)四万十ドラマ(高知)、(株)伊賀の里モクモク手づくりファーム(三重)など、同友会会員企業も登場しています。

とりあげられている事例はどれも興味深いものばかり。地域の歴史・文化・自然など「足元の資源」を見直し、さまざまの立場の人が知恵を出し連携し合えば、日本と地域の再生は可能になる。そのような展望が持てる一冊です。(KS) 学芸出版社刊、定価千八百円十税。